

# 関西ICTイノベーションセミナー

## 2015 KANSAI ICT Innovation seminar

- 産学官の連携によるICT研究開発成果を紹介 -

産学官の連携によるICT研究開発制度である戦略的情報通信研究開発事業(SCOPE)の地域ICT振興型研究開発による成果を発表するとともに、IoT時代に向けた新たな情報通信技術政策や、ICT技術の研究開発環境を提供するJGN-Xなどについて説明いたします。

参加  
無料

日時

平成27年**10月26日**(月)  
14:00~17:00

会場

エル・おおさか  
本館 7階 709会議室  
(大阪府立労働センター)  
大阪市中央区大手前1-3-49

交通アクセス

- 京阪・地下鉄谷町線「天満橋駅」より西へ300m
  - 京阪・地下鉄堺筋線「北浜駅」より東へ500m
  - 地下鉄御堂筋線「淀屋橋駅」より東へ1,200m
  - JR東西線「大阪天満宮駅」より南へ850m
- 車でお越しの場合は、阪神高速東大阪線、法円坂出口を左折して直進、京阪東口交差点左折、西へ信号5つ目



参加  
申込

どなたでも参加申込いただけます。  
※定員(70名)になり次第、受付を締め切ります。

申込締切  
10月22日(木)17時

申込方法: 下記所要事項を記載し、近畿総合通信局 情報通信連携推進課へ、  
電子メール([renkei-k@soumu.go.jp](mailto:renkei-k@soumu.go.jp))またはFAX(06-6920-0609)にてお申込みください。

- 件名 : 関西ICTイノベーションセミナー2015 参加申込
- 本文 : 参加者の ①ご氏名、②ご所属(会社・団体名及び部署)、  
③ご連絡先(電話番号、メールアドレス)

※ お申込みの際にお知らせいただいた氏名等の個人情報は、今後、当局主催イベントの周知等に使用させていただく場合があります。

主催

総務省近畿総合通信局、  
近畿情報通信協議会

協賛

国立研究開発法人  
情報通信研究機構 (予定)

## 戦略的情報通信研究開発事業 (SCOPE)

地域ICT振興型研究開発 平成26年度終了課題 (近畿管内)

## 研究成果発表

### 動物園におけるセンサー情報・飼育情報の統合管理・分析技法に基づく種の保存および環境教育活動支援プログラムの研究開発

公益財団法人京都高度技術研究所 ICT研究開発部 副主任研究員 吉田 信明 氏

#### 研究開発概要

第1に、動物園動物の行動・生理・ゲノム等の情報を個体データベースとして統合的に管理・分析するための飼育管理システムの研究開発を行う。また、従来、数値的データが乏しかった飼育動物の行動などを把握するため、動物舎に複数のセンサーを設置し、データをこのシステムに集約・構築する。

第2に、このデータベースを活用した教育プログラムを構築し、これに基づいて遠隔授業やタブレット端末等を用いた自主学习によるプログラムの検証を実施する。

### 「うめきた」における

### Wi-Fiパケット・アノニマス人流解析システムの研究開発

立命館大学情報理工学部 情報システム学科 教授 西尾 信彦 氏

#### 研究開発概要

スマートフォン等が常時発信しているProbe Requestパケットを受信し、ハッシュ関数で匿名化してサーバに伝送するパケットセンサーをコモディティ機器で開発し、都市部のターミナル等の多数の地点に配置する。サーバに蓄積されたデータ(ビッグデータ)をもとに、リアルタイムに人の分布、流動を分析し、人流の時空間分布を把握するための汎用システムを開発し、「うめきた」地区で人流把握をベースとした防災計画、商業活性化を支援するサービスの実証評価を実施する。

### 広域限界集落における超高齢者の見守り・自立支援に関する研究

奈良先端科学技術大学院大学 情報科学研究科 准教授 神原 誠之 氏

#### 研究開発概要

超高齢者の見守り・自立支援を実現するために、認識対象が異なる、(1)装着センサによる異常行動認識、(2)カメラによる生活動作の計測・評価、(3)ロボット対話による意思解析、の「さりげない」から「積極的」までの段階的な見守り方式の開発を行う。また(3)のロボットとの継続的な対話から人間とロボット間の信頼関係の構築を試み、習慣的に行動改善する行動変容を実現する手法を開発する。さらに、本研究で構築したシステムと人間の信頼関係が、見守り(監視)システムで一般に問題となるプライバシー問題に対する意識にどう影響するかを調査する。

## 特別講演

### IoT時代に向けた 新たな情報通信技術政策

総務省 情報通信国際戦略局  
技術政策課長 野崎 雅稔

### JGN-Xの活用事例と NICTの各種取り組み (仮題)

国立研究開発法人情報通信研究機構  
テストベッド研究開発推進センター  
テストベッド構築企画室

※1 SCOPE(Strategic Information and Communications R&D Promotion Programme)とは

情報通信技術 (ICT) 分野の研究開発における競争的資金です。総務省が定めた戦略的な重点研究開発を実現するために、ICTにおけるイノベーションの創出、研究者や研究機関における研究開発力の向上、世界をリードする知的財産の創出などを目的として、独創性や新規性に富む課題の研究開発を委託する事業です。

※2 JGN-X(JGN-eXtreme)とは

国立研究開発法人情報通信研究機構が構築・運用する新世代通信網テストベッド。新しいネットワーク技術の研究開発のために必要な研究開発環境を提供しています